

長岡工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	環境資源循環工学	
科目基礎情報							
科目番号		0046		科目区分		専門 / 選択	
授業形態		講義		単位の種別と単位数		学修単位: 2	
開設学科		環境都市工学専攻		対象学年		専2	
開設期		前期		週時間数		2	
教科書/教材		配布資料					
担当教員		田中 一浩					
到達目標							
この科目は長岡高専の教育目標の(D)と主体的に関わる。 この科目の到達目標と、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を、到達目標、評価の重み、学習・教育目標との関連の順で次に示す。 ①廃棄物に関連する法体系を理解する。(20%) (A2,A3,C2,C3,D1,D2) ②ライフサイクルアセスメントの意義と概念を理解する。(30%) (A2,A3,C2,C3,D1,D2) ③リスクアセスメントの意義と概念を理解する。(30%) (A2,A3,C2,C3,D1,D2) ④中間処理と最終処分の手法を理解する。(20%) (A2,A3,C2,C3,D1,D2)							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		廃棄物に関連する法体系を理解する。		廃棄物に関連する法体系を概ね理解する。		廃棄物に関連する法体系を理解していない。	
評価項目2		ライフサイクルアセスメントの意義と概念を理解する。		ライフサイクルアセスメントの意義と概念を概ね理解する。		ライフサイクルアセスメントの意義と概念を理解してない。	
評価項目3		リスクアセスメントの意義と概念を理解する。		リスクアセスメントの意義と概念を概ね理解する。		リスクアセスメントの意義と概念を理解してない。	
評価項目4		中間処理と最終処分の手法を理解する。		中間処理と最終処分の手法を概ね理解する。		中間処理と最終処分の手法を理解してない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達目標 (A2) 学習・教育到達目標 (A3) 学習・教育到達目標 (C2) 学習・教育到達目標 (C3) 学習・教育到達目標 (D1) 学習・教育到達目標 (D2)							
教育方法等							
概要		廃棄物・リサイクルの現状、法体系、省エネ・省資源の評価方法、廃棄物の処理・処分方法について学習する。					
授業の進め方・方法		廃棄物・リサイクルの現状、法体系、省エネ・省資源の評価方法、廃棄物の処理・処分方法について具体的計算を含め学習する。					
注意点							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	廃棄物・リサイクルの現状		廃棄物・リサイクルの現状を理解する		
		2週	廃棄物・リサイクルの法体系		廃棄物・リサイクルの法体系を理解する		
		3週	ライフサイクルアセスメント1		ライフサイクルアセスメントを理解する		
		4週	ライフサイクルアセスメント2		ライフサイクルアセスメントを理解する		
		5週	ライフサイクルアセスメントの実例1		ライフサイクルアセスメントの実例を理解する		
		6週	ライフサイクルアセスメントの実例2		ライフサイクルアセスメントの実例を理解する		
		7週	ライフサイクルアセスメントの実例3		ライフサイクルアセスメントの実例を理解する		
		8週	ライフサイクルアセスメントの実例4		ライフサイクルアセスメントの実例を理解する		
	2ndQ	9週	リスクアセスメント1		リスクアセスメントを理解する		
		10週	リスクアセスメント1		リスクアセスメントを理解する		
		11週	リスクアセスメントの実例1		リスクアセスメントの実例を理解する		
		12週	リスクアセスメントの実例1		リスクアセスメントの実例を理解する		
		13週	中間処理と最終処分の手法		中間処理と最終処分の手法を理解する		
		14週	中間処理と最終処分施設の見学		中間処理と最終処分施設を理解する		
		15週	前期末試験				
		16週	試験解説及び発展授業				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	建設系分野	環境	地球規模の環境問題を説明できる。		5	
				環境と人の健康との関わりを説明できる。		5	
				過去に生じた公害の歴史とその内容(環境要因と疾病の関係)について、説明できる。		5	
				廃棄物の発生源と現状について、説明できる。		5	
				廃棄物の収集・処理・処分について、説明できる。		5	
				廃棄物の減量化・再資源化について、説明できる。		5	
				廃棄物対策(施策、法規等)を説明できる。		5	
				環境影響評価の目的を説明できる。		5	
				環境影響評価の現状(事例など)を説明できる。		5	
				環境影響指標を説明できる。		5	
				リスクアセスメントを説明できる。		5	
				ライフサイクルアセスメントを説明できる。		5	

評価割合							
	試験	レポート	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	50	40	0	10	0	0	100
基礎的能力	25	20	0	5	0	0	50
専門的能力	25	20	0	5	0	0	50
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0